

各 位

平成 19 年 9 月 19 日
 東京都港区六本木六丁目 1 番 20 号
 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
 代表取締役社長 金山 精三郎
 (コード番号: 2798 東証マザーズ)
 問い合わせ先 取締役副社長 庄司 靖
 (Tel. 03-5412-0065)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 4 月 13 日に公表しました平成 20 年 2 月期（平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）の業績予想の修正並びに特別損失の計上につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 2 月期中間業績予想数値の修正（平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日）
 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,973	41	21
今 回 修 正 予 想 (B)	3,006	76	△23
増 減 額 (B-A)	32	34	△44
増 減 率 (%)	1.1	82.6	—
(ご参考) 前中間期実績 (平成 19 年 2 月期)	3,107	125	65

2. 平成 20 年 2 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日）
 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,601	187	85
今 回 修 正 予 想 (B)	5,787	256	65
増 減 額 (B-A)	186	69	△19
増 減 率 (%)	3.3	36.9	△22.9
(ご参考) 前中間期実績 (平成 19 年 2 月期)	4,464	140	47

3. 平成20年2月期通期業績予想数値の修正（平成19年3月1日～平成20年2月29日）
（単位：百万円、%）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	6,356	183	93
今回修正予想(B)	6,389	218	58
増減額(B-A)	32	34	△34
増減率(%)	0.5	18.9	△37.2
(ご参考)前期実績(平成19年2月期)	6,190	229	131

4. 平成20年2月期通期連結業績予想数値の修正（平成19年3月1日～平成20年2月29日）
（単位：百万円、%）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	12,095	512	240
今回修正予想(B)	12,281	581	241
増減額(B-A)	186	69	0
増減率(%)	1.5	13.5	0.3
(ご参考)前期実績(平成19年2月期)	9,641	253	173

5. 修正の理由

(1) 中間期

<個別>

売上高については前回発表予想に比して若干の増加となり、また店舗における仕入原価及び人件費等のコスト削減が功を奏したこともあり、経常利益については前回発表予想を上回る見通しであります。

しかしながら、平成19年8月15日付でお知らせいたしました当社海外孫会社であります台湾和伊授桌餐飲股份有限公司の解散及び清算に伴い、下期に発生が見込まれる損失94百万円を特別損失として引当計上することといたしました。

その結果、中間純利益につきましては、前回発表予想を下回る見通しであります。

<連結>

連結業績予想につきましては、当社子会社であります(SALVATORE CUOMO JAPAN)を中心とした既存店舗の堅調な業績を受け、連結売上高が前回発表予想を上回る見通しであります。また、同社の店舗における仕入原価及び人件費等のコスト削減が功を奏したこともあり、連結経常利益についても前回発表予想を上回る見通しであります。

しかしながら、個別業績予想の修正理由に記載しているとおり、当社海外孫会社の解散及び清算に伴う特別損失の計上により、中間純利益につきましては、前回発表予想を下回る見通しであります。

(2) 通期

<個別>

上記、中間期の個別業績予想の修正理由と同様の理由であります。通期業績予想につきましては、中間期の個別業績予想の修正を反映したものとなっております。

<連結>

上記、中間期の連結業績予想の修正理由と同様の理由であります。通期連結業績予想につきましては、中間期の連結業績予想の修正を反映したものとなっております。

以 上